



【自主 敬愛 勇健】 ～生徒が自信をもって生き生きと活動する学校～

＜丸子地域中学校ブロック人権同和教育研修会を開催しました＞

11月13日(水)に、本校を会場として、「丸子地域中学校ブロック人権同和教育研修会」を開催しました。この研修会は、学校職員が人権同和教育の授業を参観し、授業のあり方や人権同和教育の推進、各校の取組などについて協議する研修です。毎年開催している研修会ですが、今年度は本校が会場校となりましたので、2年2組(齊藤教諭)と3年2組(梶教諭)の授業を公開し、丸子地域の多くの先生方に参観していただきました。

私は各教室を往復しながら授業を参観しましたが、2年生も3年生も、学習課題について自分ごととして捉えて、真剣に考える姿が見られました。多くの先生方が参観する中でも、恥ずかしがらずに、自分の考えをはっきりと伝える生徒の姿から、着実に成長していることを感じ、嬉しく思いました。生徒の発言や感想から、「世の中にある様々な差別や偏見を根絶していくためには『自ら動く』ことが大切である」という意識をもてる授業であったと思います。

ハラスメントやヘイトスピーチ、SNSによる誹謗中傷など、至る所に人権を侵害するような差別や偏見は存在しています。差別や偏見のすべてを理解し、解決していくことは難しいかもしれませんが、身近なものからなくしていくことは可能です。そのためには、正しい理解と認識をもって、自ら考え、自ら正しい行動をとっていくことが大切であると思います。



【生徒の振り返りから－3年生－】

- 誰かの思いを完全に理解することは難しいけれど、相手の話にじっくりと耳を傾け、相手の思いにできるだけ近づくことがまず大切だと思った。実際に直面したときに行動できるように、“誰か”ではなく、“自分自身”で動けるようにこれからも真剣に考えていきたい。「知らなければ動けない、動かなければ変わらない」
- 人権学習は今の差別やいじめがあるからなくならない授業で、自分は差別やいじめについて理解できていると少し感じていたけど、全然できていなくて、自分の考えが浅はかだったなと思いました。差別やいじめは日常の中で、事が大きくならないだけで起こっているのかなと思いました。私は差別やいじめを受けたことがないから、被害者の人

【生徒の振り返りから－2年生－】

- 命の重さはみんな同じだから、助け合うことを大切にしていきたいと思った。
- 私にも人に優しくし、命を大切にし、助けることのできる人になりたい。
- 一人じゃ生きられない世界だからこそ、助け合いや色々なことへの協力が大事だと思った。
- ひどいことをされても、いざとなったら助けられる藤べえじいさん姿を見習いたいなと思いました。

2年2組と3年2組の保護者の皆様には、研修会を開催するにあたり、生徒の下校時間について温かいご理解とご協力をいただきましたことにお礼申し上げます。ありがとうございました。

＜ご連絡＞

・12月9日(月)から個別懇談会(三者懇談)が始まります。保護者の皆様と子どもたちの成長した点を確認め合い、子どもたちが自分を伸ばすための目標をしつかりと持てるようにしたいと考えております。年末のお忙しい時期かと思いますが、ご出席のほどよろしくお願いいたします。

